

身近な「食品ロス」を調査しよう！

調査とインタビューで探る解決のヒント

毎日食べる「給食」を手がかりにして、身の回りで起きている「食品ロス」の実態を調査し、自分たちにできる解決策を考えてみましょう。

STEP 1 身の回りの食品ロスを探そう

あなたの身近な場所（学校、家、近所のお店など）で、実際に「残されている食べ物」や「捨てられてしまいそうな食べ物」を調べて書き出してみましょう。

① 調査した場所

例：教室の配膳台、家の冷蔵庫、近所のスーパーなど

② どんな食べ物が、どれくらい残っていた／捨てられそうだった？

例：食缶の底にご飯が少し残っていた、冷蔵庫の奥に賞味期限が3日過ぎた納豆があった、など

STEP 2 捨てることで起こる「3つの損失」を生活と結びつけよう

食べ物を捨てることで「環境・お金・社会」の3つに損失があります。STEP 1で見つけた食品ロスが、私たちの生活やまちにどんな影響を与えているか、具体的に想像して書いてみましょう。

損失の種類	身近な生活への影響（自分の言葉で書こう）
① 環境	例：学校の残菜を運んで燃やすために、どれくらいのCO ₂ が出るだろう？
② お金	例：家で食べ物を捨てると、買ったお金やゴミ袋代はどうなるだろう？
③ 社会	例：給食や家庭のごみを処理する税金を別のことに使えたら、私たちのまちはどうなるだろう？

STEP 3 なぜ捨てられてしまうのか、理由を調べよう

身近な場所で「差」が生まれる理由を、自分の行動を振り返ったり、周りの人（給食の調理員さん・スーパーの店員さん・家族・友だちなど）にインタビューしたりして探ってみましょう。

※ インタビューする前に、活動の目的と、聞いた内容を授業で共有することを伝えて、許可をもらいましょう。



学校給食

食べ残しが起きる理由

好き嫌い以外にどんな理由がある？ 給食の調理員さんに聞いたり、自分や友だちの様子から考えたりしてみよう。



家庭

食品ロスが起きてしまう理由

好き嫌い以外にどんな理由がある？ 給食の調理員さんに聞いたり、自分や友だちの様子から考えたりしてみよう。



お店・生産現場

捨てられてしまう理由

スーパーの店員さんに聞いたり、陳列棚や野菜の形などから気づいたりしたことを書いてみよう。

4～5人のグループになり、「私たちのクラスで、給食の食品ロスを減らすための作戦」を話し合しましょう。記事の横須賀市の事例やSTEP 1～3の調査結果もヒントにしてください。

1 STEP 3までで気づいたことや、自分のアイデアをグループ内で共有しよう

2 グループで話し合い、明日からクラスで実行できそうな「ベストな作戦」を一つ決めよう

 私たちの作戦

作戦名： _____

具体的なやり方：

3 他のグループの発表を聞いて、いいなと思ったアイデアをメモしよう

この記事や調査で学んだこと、グループワークのアイデアを踏まえて、今日から実践する「食品ロスを減らすマイ・ルール」を3つ宣言しましょう！

私の食品ロス削減マイ・ルール

1 学校で：

2 家やお店で：

3 社会のために：
